

取扱説明書及び部品表

Takakita

細断型ロールベアラ
リモコンアタッチ

MR-810-R

適用機種 MR-810
MR1000



本製品を安全に、また正しくお使いいただくために
必ず本取扱説明書と細断型ロールベアラ本体の取扱
説明書をお読みください。
お読みになった後も大切に保管してください。

株式会社 **タカキタ**

は じ め に

このたびは本製品をお買い上げいただき、ありがとうございました。

この取扱説明書は、**細断型ロールペーラ リモコンアタッチ**の取扱方法と使用上の注意事項について記載してあります。ご使用前には必ず、この取扱説明書を熟知するまでお読みの上、正しくお取扱いただき最良の状態でご使用ください。

- お読みになったあとも必ず製品に近接して保存してください。
- 製品を貸与または譲渡される場合は、この取扱説明書を製品に添付してお渡してください。
- この取扱説明書を紛失または損傷された場合は、速やかにお買い上げの販売店または当社にご注文ください。
- 本書は、**注意**として知っておくとお得な製品の性能や、製品自体の損傷防止に関する留意事項を書いてあります。
- なお、本製品については不断の研究成果を新しい技術として直ちに製品に取り入れておりますので、お手元の製品と本書の内容が一致しない場合もありますので、あらかじめご了承ください。
- ご不明なことやお気付のことがございましたら、お買い上げの販売店または当社にご相談ください。

警 告 サ イ ン

 印付きの下記マークは安全上、特に重要な項目ですので、よく読んで必ずお守りください。

 **危険** その警告に従わなかった場合、死亡または重傷を負うことになるものを示します。

 **警告** その警告に従わなかった場合、死亡または重傷を負う危険性があるものを示します。

 **注意** その警告に従わなかった場合、ケガを負うおそれのあるものを示します。

目 次

 安全に作業するために	1
各部の名称とはたらき	2
1. 構成	2
2. 送受信機	3
装着のしかた	4
1. 受信機の接続	4
2. 送信機の取扱い	5
3. 電磁クラッチの接続	5
4. 安全ガードの取り付け	6
作 業 方 法	7
1. 作業の流れと要点	7
2. 作業場所への設置	7
3. 作業手順	8
不 調 診 断	9
付 表	10
1. 主要諸元	10

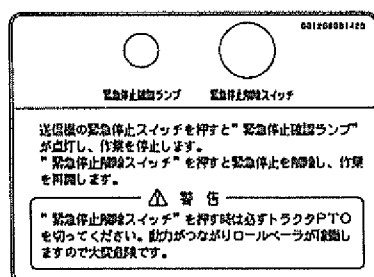
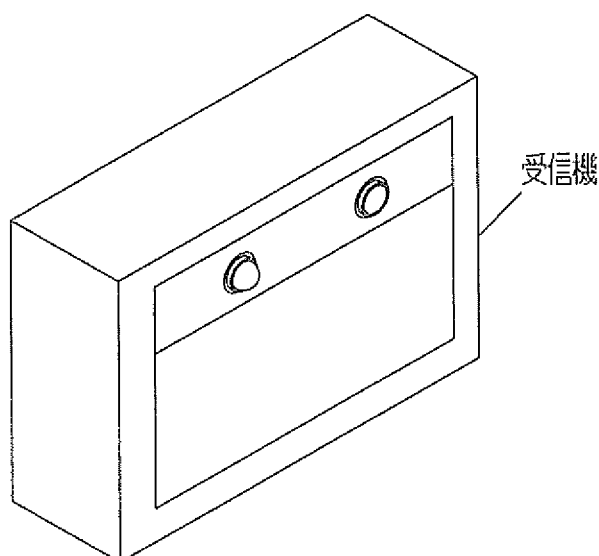


安全に作業するために

取扱説明書と本機に貼ってある⚠表示ラベルをよく読み、機械の使い方をよく理解した上で使用してください。また、機械を点検して異常がないかを確認してから使用してください。

機械を他人に貸すとき、または他人に運転をさせるときは、運転の仕方を教え、本書も貸与し必ず読んでもらってください。

警告ラベルの貼付け位置

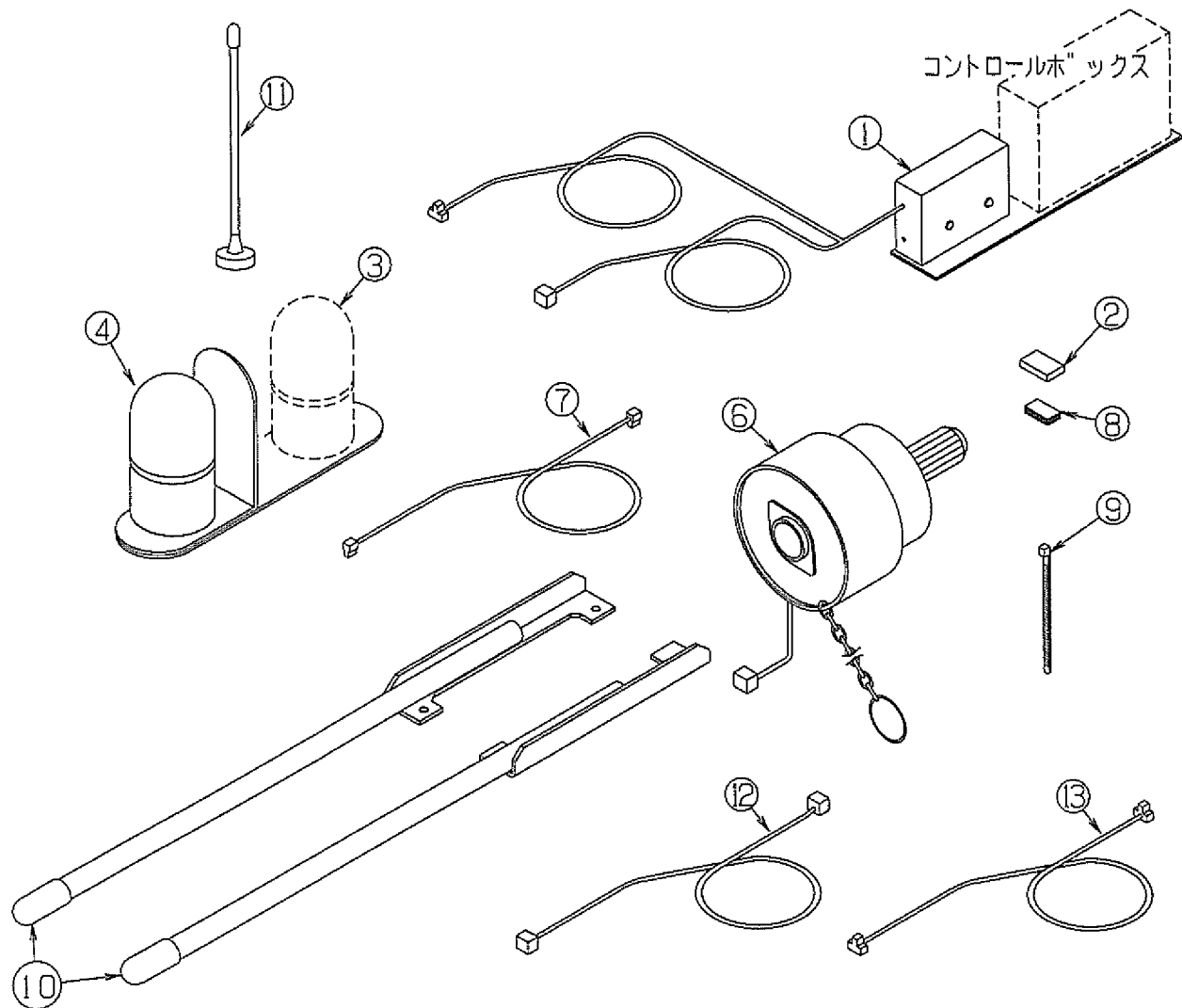


警告ラベルの取扱い注意事項

- (1) 警告ラベルはいつもきれいにして傷をつけないように、また汚れている場合、中性洗剤で洗い、軟らかい布で水気を拭いてください。
- (2) 傷ついたり、汚れたり、はがれた場合は、お買い上げの販売店又は当社に注文し新しいラベルを元の位置に貼ってください。
(ラベルをご注文の際は部品コードをご連絡ください。)
- (3) 警告ラベルが貼ってある部品を交換する場合は、新しいラベルを注文して元の位置に貼ってください。
- (4) 新しいラベルを貼る場合は、汚れを拭き取り、乾いた面に貼ってください。
気泡は隅の方へ押しながら抜いてください。

各部の名称とはたらき

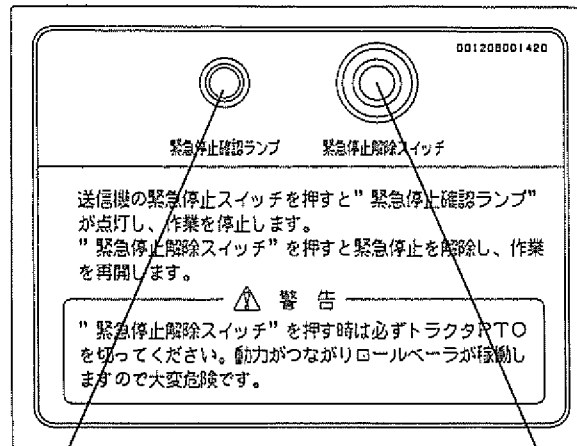
1. 構成



番号	名称	はたらき
①	受信機	無線の電波をコントロールボックスに送るボックス
②	送信機	無線の電波を出すボックス
③	パトライト [黄色]	作業状況を示す回転灯 (ネット結束中に回転)
④	パトライト [緑色]	作業状況を示す回転灯 (ロール成形中に回転)
⑤	アンテナ台	必要時にアンテナを取付ける台
⑥	電磁クラッチ	緊急停止時にトラクタから作業機への動力を切断する
⑦	延長ハーネス [2 P]	コントロールボックスとパトライト [黄色] 間をつなぐ
⑧	マジックテープ	送信機を任意の場所に固定する
⑨	リピートタイ	コード類設置時たるまない様適当にしばる (5 本付属)
⑩	安全ガード	ホッパーの動作領域内への立ち入りを防止する (MR-810 の場合に使用)
⑪	アンテナ	送信距離を伸ばしたい場合、アンテナ台に取付ける
⑫	延長ハーネス [4 P]	受信機と電磁クラッチ間をつなぐ
⑬	延長ハーネス [3 P]	受信機とパトライト [緑色] 間をつなぐ

各部の名称とはたらき

2. 送受信機



(受信機)

緊急停止確認ランプ

緊急停止をしている間、点灯します。

緊急停止解除スイッチ

緊急停止を解除します。

このスイッチを押す時は必ずトラクタPTOを切ってください。動力がつながりロールペーラが稼働しますので大変危険です。

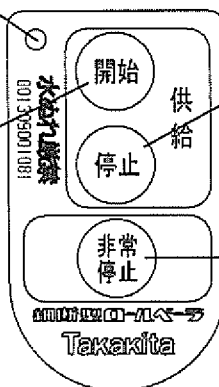
送信LED

送信機のスイッチを押すと点灯します。著しく暗くなった場合は電池交換が必要です。

(送信機)

供給開始スイッチ

ロール成形を開始します。電波が受信機に届くとパトライト【緑色】が回転を始めます。(コントロールボックスの供給スイッチを“供給”側に倒した時と同じ役割)



供給停止スイッチ

ロール成形中（パトライト【緑色】回転中）に押すとパトライト【緑色】が停止し、ロール成形を中断します。(コントロールボックスの供給スイッチを“停止”側に倒した時と同じ役割)

緊急停止スイッチ

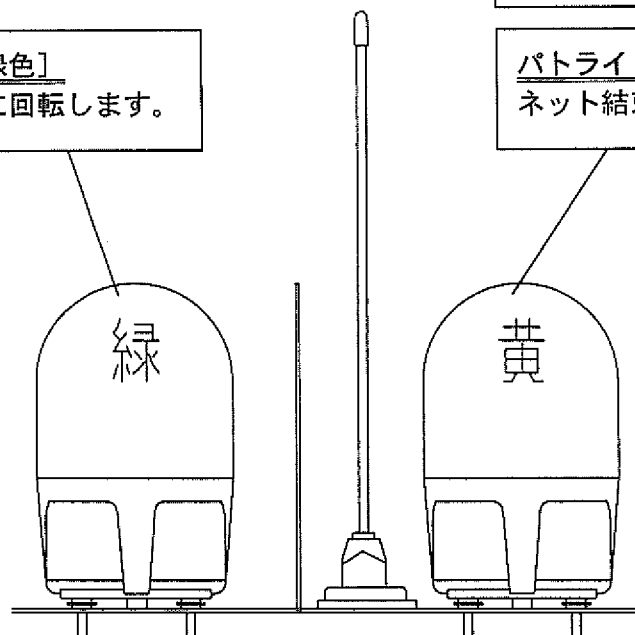
ロールペーラの動作を止めます。再び作業を開始する際は受信機の“緊急停止解除スイッチ”を押してください。

パトライト【緑色】

ロール成形中に回転します。

パトライト【黄色】

ネット結束中に回転します。



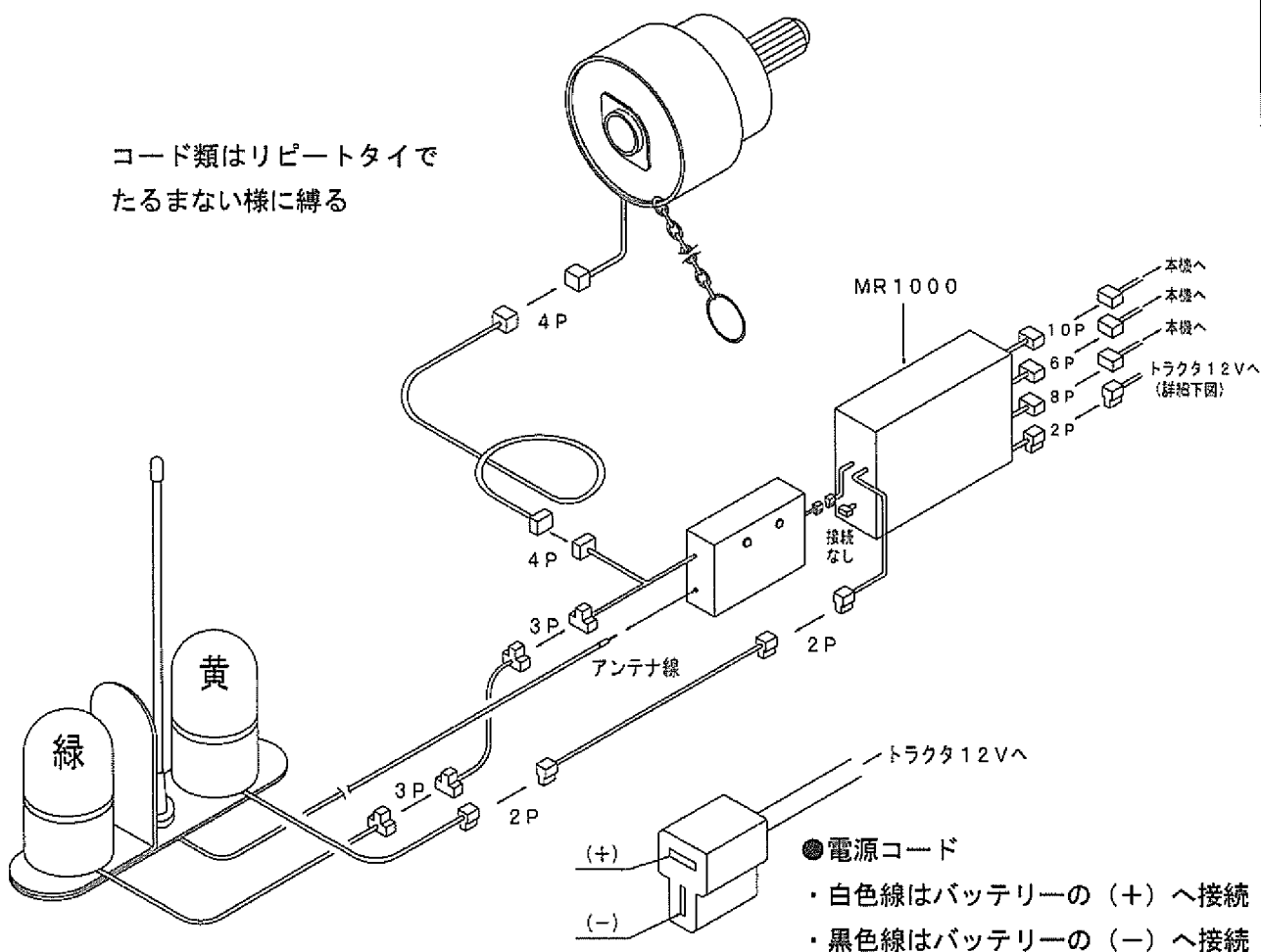
装着のしかた

⚠ 警告

- 装着は平坦で安定した場所で行ってください。
 - 二人以上の共同作業では、お互いに声を掛け合うなどして、安全を確かめ合いながら作業してください。
 - 電磁クラッチ、ユニバーサルジョイントは、必ずトラクタのエンジンを止めPTOクラッチを切ってから確実に接続してください。
- 以上のことを守らないと傷害発生のおそれがあります。

1. 受信機の接続

- ◆ 電源はトラクタのバッテリーから取ります。
- 接続できるバッテリーの電源は12Vです。
※ 24Vバッテリーに接続しないでください。間違って接続すると受信機内部の機器が破損します。



注意

- (+)、(-) の接続を間違えると、コントロールボックスの電源が入りません。(電源ランプが点灯しません)
- 電圧不足のバッテリーは誤作動の原因になります。十分に充電したバッテリーを使用してください。(許容 DC 12~14V)

装着のしかた

2. 送信機の手扱い

送信機に電池を入れてください。

必要に応じて付属のマジックテープで送信機を任意の場所に貼り付けてください。

マジックテープは必要な大きさに切り使用してください。

●電池交換

送信機のスイッチを押しても送信LEDが点灯しない場合や、著しく暗くなった場合は電池交換が必要です。送信機裏側の電池蓋をコインなどではずし電池交換をします。電池は市販のリチウム電池CR2032を使用してください。

電池は＋極を確認の上、正しく装着してください。

電池蓋の装着は、外す場合は「OPEN」、着ける場合は「CLOSE」方向にコインなどで蓋を回してください（電池蓋は作業中等に外れて落とす可能性があるため、必ずテープ等で固定してください）。



注意

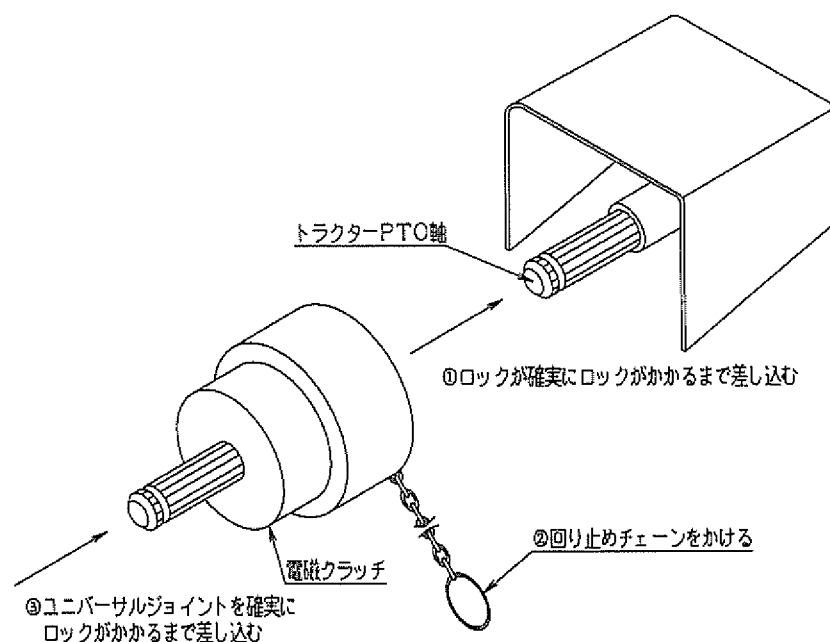
無線機の手扱い説明書も同梱しておりますので、あわせてご使用前には必ずお読みください。

3. 電磁クラッチの接続

図のようにトラクタへ装着してください。

回り止めチェーンを必ずしてください。

電気コード等が回転物に接触しない様、リピータイで確実にしばってください。

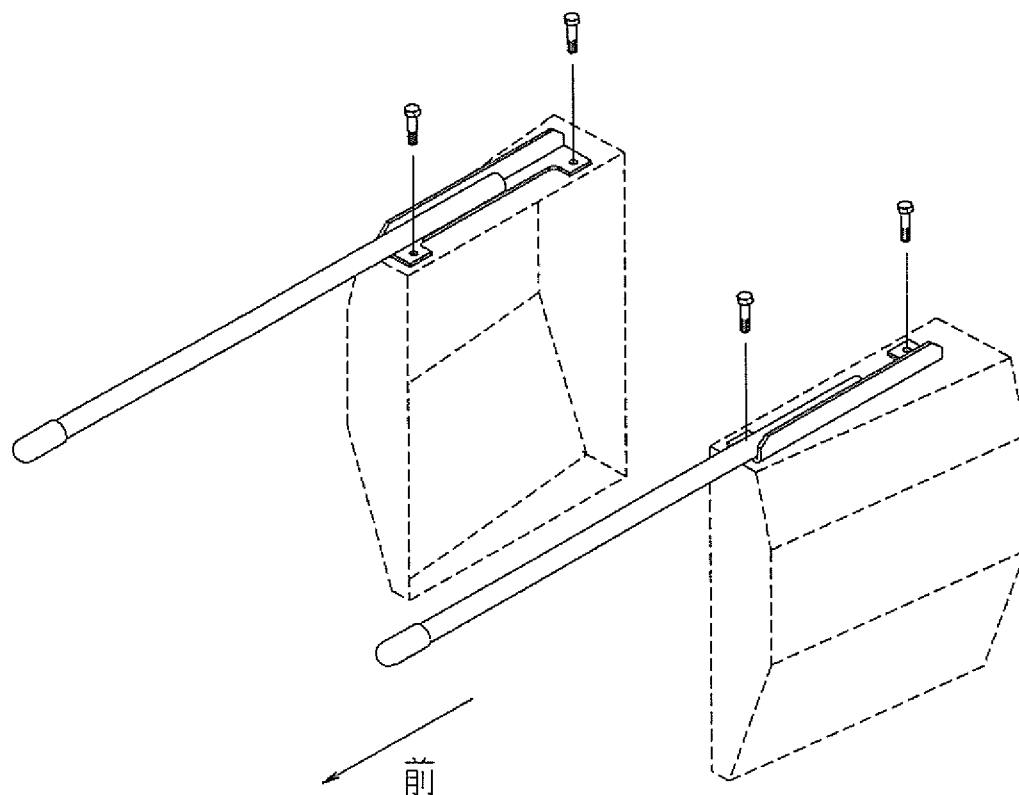


装着のしかた

4. 安全ガードの取り付け

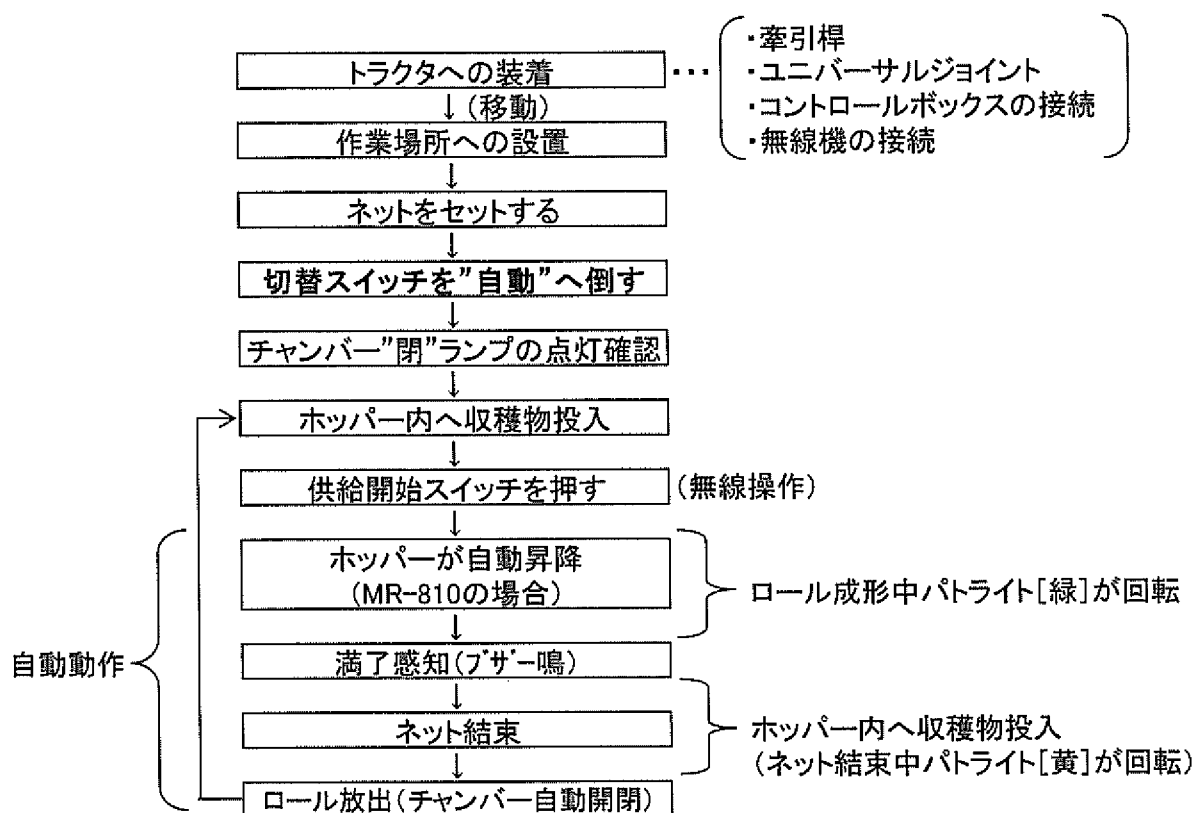
ロールベア前方のカバーを取付けているボルトを外し、安全ガードを共締めしてください。

なお、ホッパーが自動昇降する MR-810 の場合に使用します。



作業方法

1. 作業の流れと要点



2. 作業場所への設置

①作業場所はロールの品質保持ならびに危険防止のため下記のような場所で行ってください。

- 放出したロールが転がらない平坦な場所
- ラッピングマシンによるロールの積込み、放出に障害の無い広い場所
- 収穫物の積込み作業者ならびにラッピングマシン作業者が本機を見通せる障害の無い場所
- 作業中は作業者以外の人や動物が近づかない場所



警告

無人運転となりますので作業中は作業者以外の人や動物が作業範囲内に近づかないことを徹底願います。

②トラクタの駐車ブレーキと本機の車輪止めを行う。

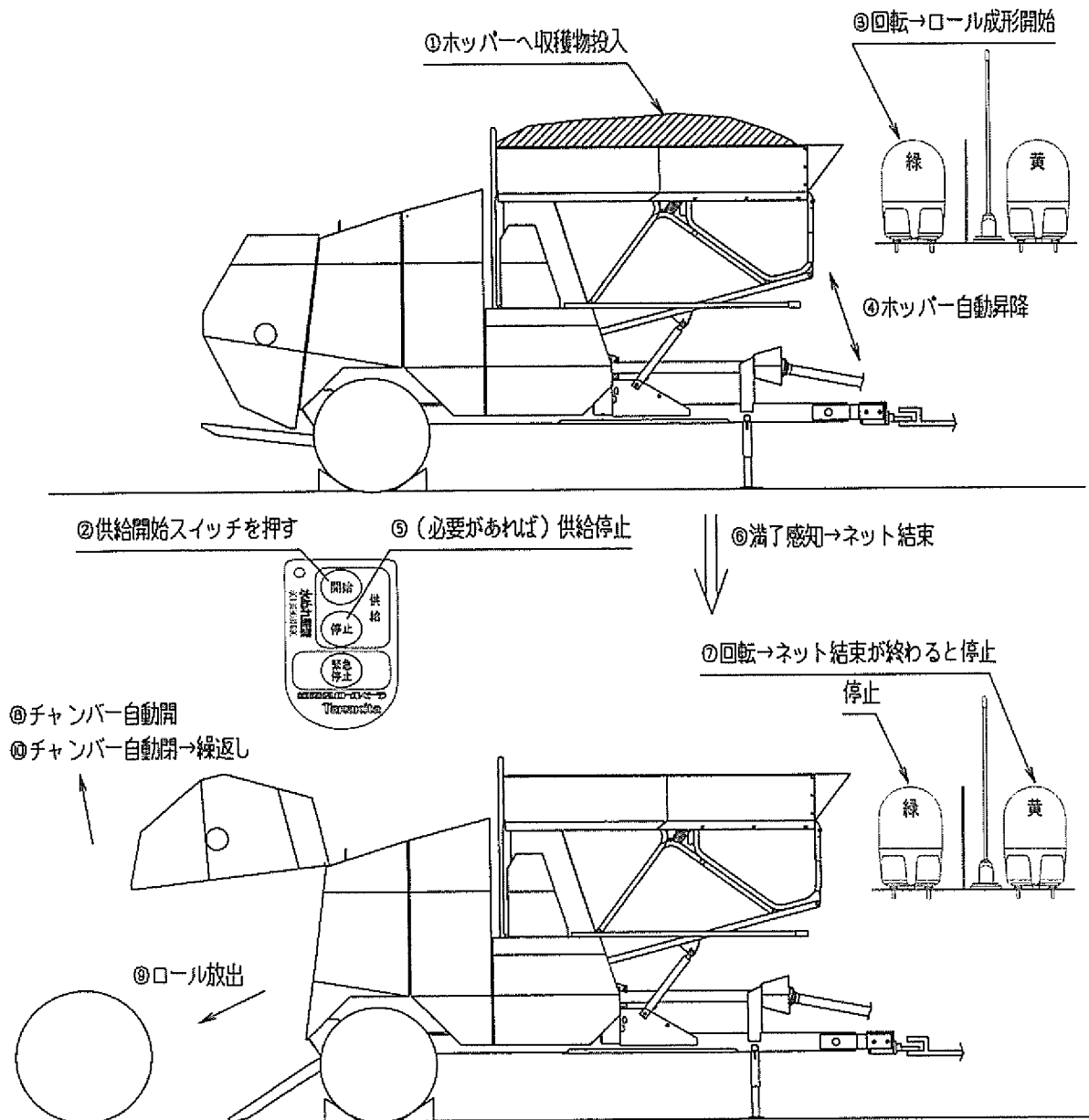


警告

- おこたると作業中、本機およびトラクタが慣性力で振れることがあります。
- トラクタから切り離しての作業は本機が振れ危険ですので行わないでください。

作業方法

3. 作業手順



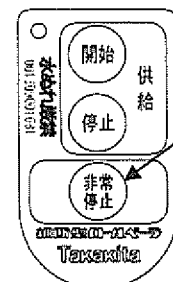
警告

ホッパー、チャンバーの動作領域内とロールの放出範囲の安全と障害のないことを確認してから“供給開始スイッチ”を押してください。

送信機の緊急停止スイッチを押すと本機の油圧動作を止め、さらにトラクタからの動力を切断することができます。

緊急停止中は受信機の“緊急停止確認ランプ”が点灯します。

復帰する際は受信機の“緊急停止解除スイッチ”をトラクタPTOを切ってから押してください。



緊急停止スイッチ

不 調 診 断

不 調 内 容	診 断	処 置	参 照 ページ
●供給開始スイッチを押しても動かない。	●コントロールボックスの電源ランプが点いていない。	●電源を入れる。 ●受信機とコントロールボックスの接続を確認する。	4
	●コントロールボックスのチャンバー閉ランプが点いていない。	●チャンバーを閉める。	—
	●受信機との距離が離れすぎている。	●送信距離を伸ばしたい場合は、同梱されているアンテナを取付けてください。	2
	●コントロールボックスの動作切替が“手動”になっている。	●“自動”に切替える。	
	●緊急停止状態になっている（受信機の緊急停止確認ランプが点灯）。	●トラクタPTOを切り受信機の緊急停止解除スイッチを押す。	3
	●受信機よりアンテナ線が抜けている。	●受信機とアンテナ線の接続を確認する。	4
	●電磁クラッチの配線（4P）が抜けている。	●接続を確認する。	4
	●送信機の電池切れ。	●電池交換を行う。	3 5
●電源が入らない。	●ヒューズが切れている。	●電源コード部ヒューズ（30A）を交換。 ●コントロールボックスヒューズ（15A）を交換。	—
	●緊急停止状態に鳴っている（受信機の緊急停止確認ランプが点灯）。	●トラクタPTOを切り受信機の緊急停止解除スイッチを押す。	3

付 表

1. 主要諸元

型 式		MR-810-R
名 称		細断型ロールペーラ リモコンアタッチ
送信機	電 源	DC3V (コイン型リチウム電池CR2032)
	外形寸法	55×32×6.5mm
	保存温度	-10~+60℃
	電池寿命	2年 (5回/時間送信、1日8時間運用) ※参考値
	使用周波数	315MHz
	送信出力	特定小電力の技術基準適合
受信機	消費電流	最大100mA以下
	外形寸法	115×150×70mm
	保存温度	-10~+55℃
電磁クラッ チ	消費電流	1.7A (20℃)
	外形寸法	φ200×233
	使用馬力	100馬力以下
	使用回転数	1300rpm以下
	スプライン延長 距離	175mm